

据付説明書

(工事される方へ)

取扱説明書もご覧ください。

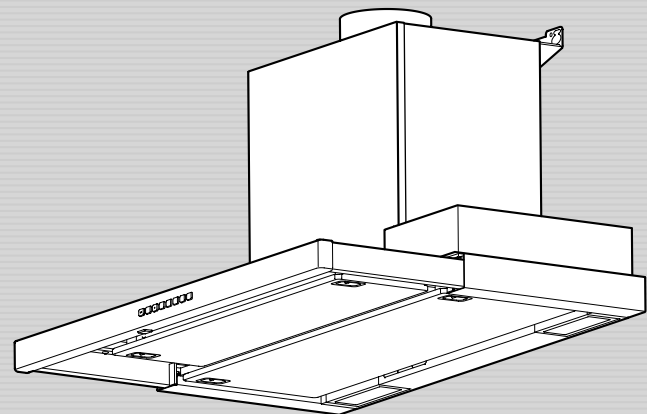
日立IH対応レンジフードファン

型式 **HE-900SA**

もくじ

●安全上のご注意	2
●寸法図	3
●各部のなまえ・付属品	3
●取り付け前の調査と準備	4
●取り付け上のご注意	5
●取り付けかた	6
●システム部材	12

- この商品の取り付けおよび電気工事は専門工事が
必要です。販売店、専門工事店に依頼をしてくだ
さい。
- 据付工事においては取扱説明書についてもよくお
読みになり、正しく据付工事を行ってください。








安全上のご注意

お使いになる人や、ほかの人への危害、財産への損害を未然に防止するため、お守りいただくことを次のように説明しています。また、本文中の注意事項についてもよくお読みのうえ、正しくお使いください。

■ここに示した注記事項は

表示内容を無視して誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

絵表示の例	
 警告	この表示の欄は、「死亡または重傷を負うことが想定される」内容です。
 注意	この表示の欄は、「傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される」内容です。
	「警告や注意を促す」内容のものです。
	してはいけない「禁止」内容のものです。
	必ず実行していただく「指示」内容のものです。

警告

●火災・感電・けがの原因になります。

電源



- 交流100V以外では使用しない

アース線



- アースを確実に取り付ける
アース工事は、電気設備技術基準など関連する法令、規則などに従って電気工事業者が行ってください。アース工事は、D種接地工事を行ってください。
故障や漏電のときに感電する恐れがあります。

そのほか



- 分解したり、修理・改造しない



- メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの木造の造営物に金属製ダクトとメタルラス、ワイヤラス、金属板とが電氣的に接触しないように取り付ける
- 自然排気型のストーブを使用するときは、空気の入入口(給気口)により十分給気される配慮をすること

注意

●発火・感電・けが・故障の原因になります。

取り付け



- 浴室などの湿気の多い場所では絶対に使わない(浴室用換気扇をお使いください)
- 天井には取り付けない



- 本体の取り付け工事は十分強度のあるところを選んで確実にを行う
- 羽根や部品の取り付けは確実にを行う
- 配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って安全・確実にを行う
- 施工の際は厚手の手袋を着用する

そのほか



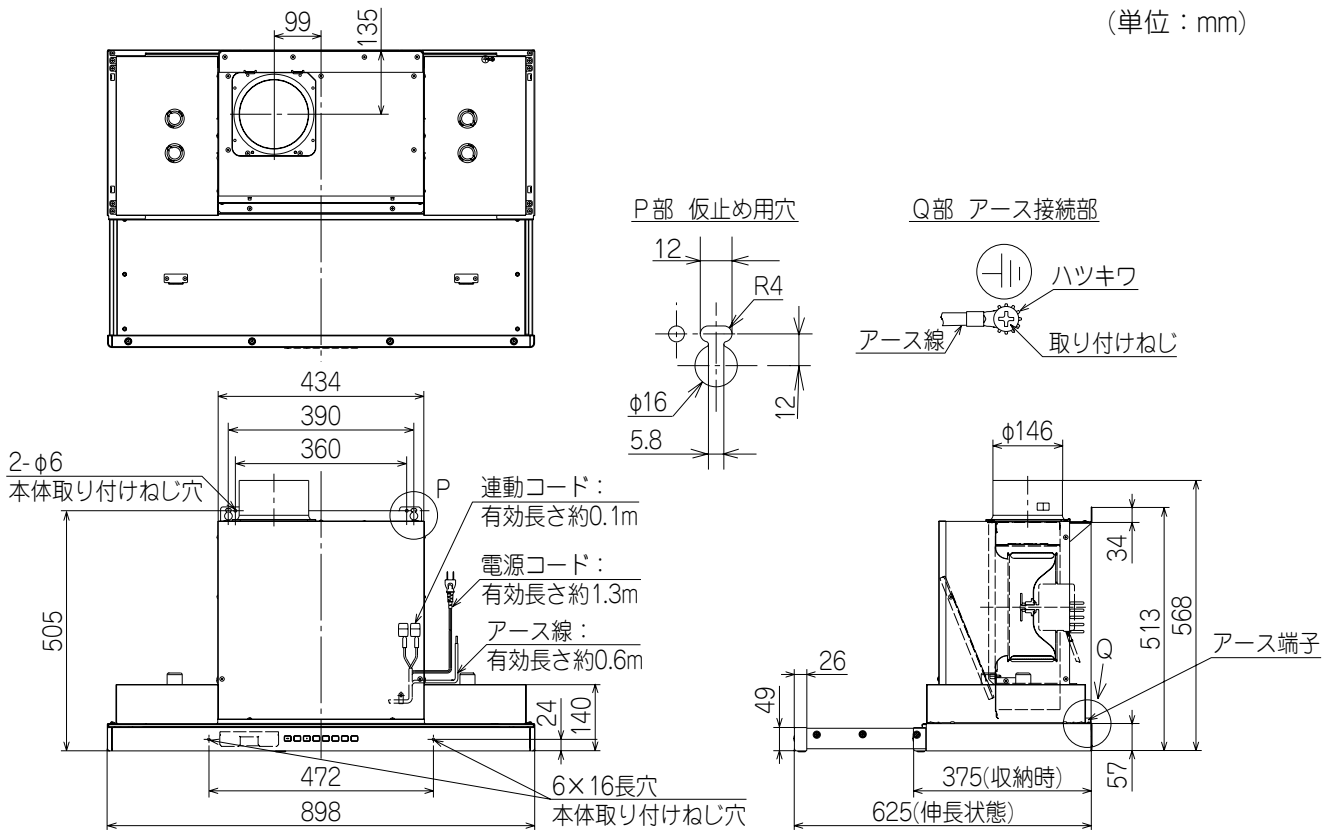
- 運転中は危険ですから、ファンの中に指や物を入れない



- レンジフードファン取り付け面の木部に、取り付け用木ねじが確実に届いているかを確認すること
本体の取り付け用木ねじは、40mmの長さのものが同梱されておりますが、壁下地に石こうボードなどが貼られている場合は、石こうボードなどの厚さを確認し、取り付け用木ねじが確実に木部に届くことを確認してください。

寸法図

(単位：mm)



各部のなまえ・付属品

■別売の前幕板、横幕板を取り付けた状態で説明しています。

前幕板
VP-SAMAK(別売)
希望小売価格 35,000円 (税別)

横幕板
VP-SAYMAK(別売)
希望小売価格 25,000円 (税別)

ダクト継手

電源コード

アース線

操作スイッチ

信号受信部
連動可能な調理機器から発信される信号を受け付けます。

整流板(大)、(小)
調理時に発生する湯気や煙の流れを、吸い込みやすいように導くと同時に、適切な吸い込み口を形成します。

フィルター
ファンへの異物侵入を防ぎ、かつ、油煙中の油を付着させ外気へ放出される油の量を減らします。

ベルマウス
ファンに吸い込まれる空気の流れを滑らかにします。

ファン
高回転で回って空気を吸い込み、屋外に排気します。

オイルポケット
レンジフードファン内に付着した油を受けてためておきます。定期的にお手入れしてください。

連動コード
給気シャッターの連動用出力線です。電圧を印加しないでください。

安全スイッチ(電源スイッチ)
レンジフードファンの電源を切/入します。

電球
調理時の手元を照らします。

付属品

- フィルター (1枚)
- 整流板(大) (1枚)
- 整流板(小) (1枚)
- ダクト継手 (1個)
- 本体固定用ねじ (6本)

取り付け前の調査と準備

1. 取り付け面の強度確認……………製品を支える強さが必要です。
本体質量：約30kg

■板張りの場合

- 板厚が20mm以上の場合は直接板に取り付けてください。
- 板厚が20mm以下の場合は壁に補強板を埋め込み、補強板にレンジフードファンを取り付けてください。

■コンクリート、タイル壁の場合

- あらかじめ補強板を壁に埋め込み、補強板にレンジフードファンを取り付けるか、カールプラグなどを使用して取り付けてください。

■土壁の場合

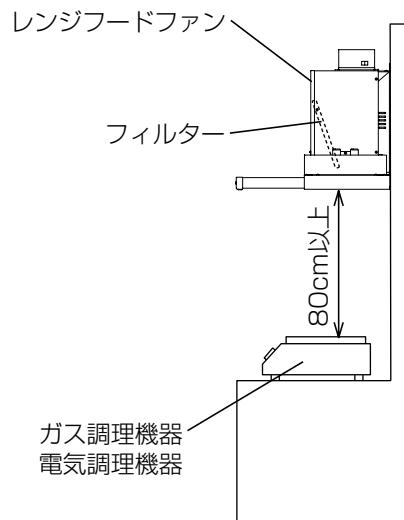
- 柱などに固定した補強板をあらかじめ壁に埋め込み、補強板にレンジフードファンを取り付けてください。

2. システム部材(別売)の準備

排気工事に応じたシステム部材の準備が事前に必要です。→ P.12

3. 標準取付方法

- 本製品の標準取付寸法は、ガス調理機器、電気調理機器の上面からレンジフードファンの下面まで80cm以上です。(高く取り付けると吸い込みが悪くなります。)
- 火災予防条例では、フィルターの下端が火源の真上80cm以上必要となっています。



4. 電源コンセント

- コンセントは専用コンセントを設置してください。(交流・単相100V)
- コンセントは、JIS C8303 2極差し込み接続器15A 125Vをご使用ください。
- コンセントは、使用されるお客様が容易に抜き差しできる位置へ設置してください。

警告

●火災・感電の原因になります。

電源(プラグ・コード)



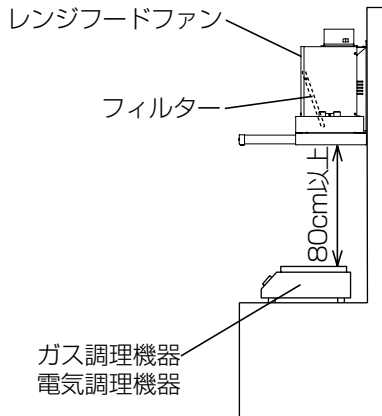
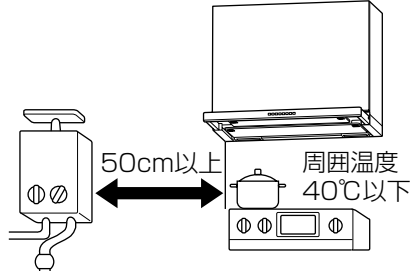
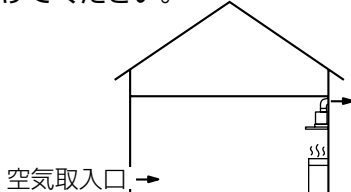
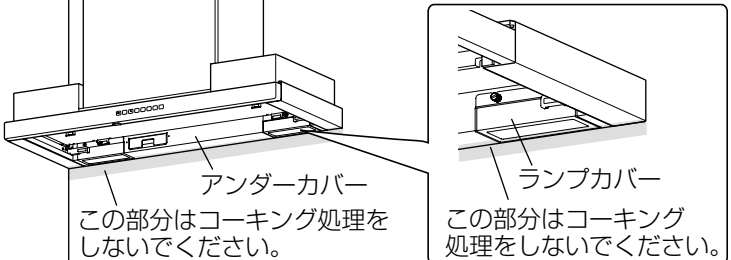
- 電源プラグは、刃および刃の取り付け面にほこりが付着している場合はよくふく



- 傷んだ電源コードや電源プラグ、ゆるんだコンセントは使用しない
- 電源コードを傷つけない

〔傷つけ・加工・無理な曲げ・引っ張り・ねじり・重いものを載せる・はさみ込むなどしない〕

取り付け上のご注意

<ul style="list-style-type: none"> ● 排気工事をされる場合、建築基準法(同施行令)および消防法などの関連法規に従って施工してください。 	<ul style="list-style-type: none"> ● レンジフードファンの取り付けは、建物の金属部(壁内ラス網など)と接触しないように、十分注意して工事してください。なお、本体の壁への埋め込みは、絶対にやめてください。漏電した場合、発火することがあります。
<ul style="list-style-type: none"> ● ガス調理機器、電気調理機器の幅はレンジフードファンの幅以内のものをご使用ください。ガス調理機器、電気調理機器はレンジフードファンの前面より(伸縮フードが突出した状態)手前にはみ出して設置しないでください。排気効率が低下します。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 非常に長いダクトや細いダクト、あるいは極端に屈曲したダクトは排気効果をいちじるしく低下させたり、騒音が大きくなりますのでご使用はおやめください。
<ul style="list-style-type: none"> ● 周囲温度が40℃以上になるところには取り付けしないでください。火災・故障の原因となります。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 製品仕様を改造してのご使用はおやめください。
<ul style="list-style-type: none"> ● 電源は専用のブレーカー・コンセントを設けてください。火災・感電の原因となります。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 製品の取り付け工事には厚手の手袋を着用してください。薄板の切り口などでけがをする恐れがあります。
<ul style="list-style-type: none"> ● 製品はガス調理機器、電気調理機器の真上に取り付けてください。なお、この製品の標準取付高さは、製品下面がガス調理機器、電気調理機器の真上80cm以上になるようにしてください。 	<ul style="list-style-type: none"> ● ガス湯沸かし器周辺は高温になるので50cm以上離してください。湯沸かし器上部にはレンジフードファンを取り付けしないでください。破損や故障の原因になります。 
<ul style="list-style-type: none"> ● 建物が密閉されている場合は必ず 約400cm²程度の空気取入口を設けてください。 	<ul style="list-style-type: none"> ● レンジフードファンの側面が壁に隣接して取り付けられる場合は、壁が垂直になっているか確認してください。伸縮フードが移動するので、壁が垂直でないと干渉することがあります。
<ul style="list-style-type: none"> ● 壁と本体(アンダーカバー部)にコーキング処理をしないでください。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 点検などの際に、アンダーカバーを取り外せなくなります。 ・ ランプカバーの開閉ができなくなります。 	

取り付けかた

1. 本体および付属品の準備

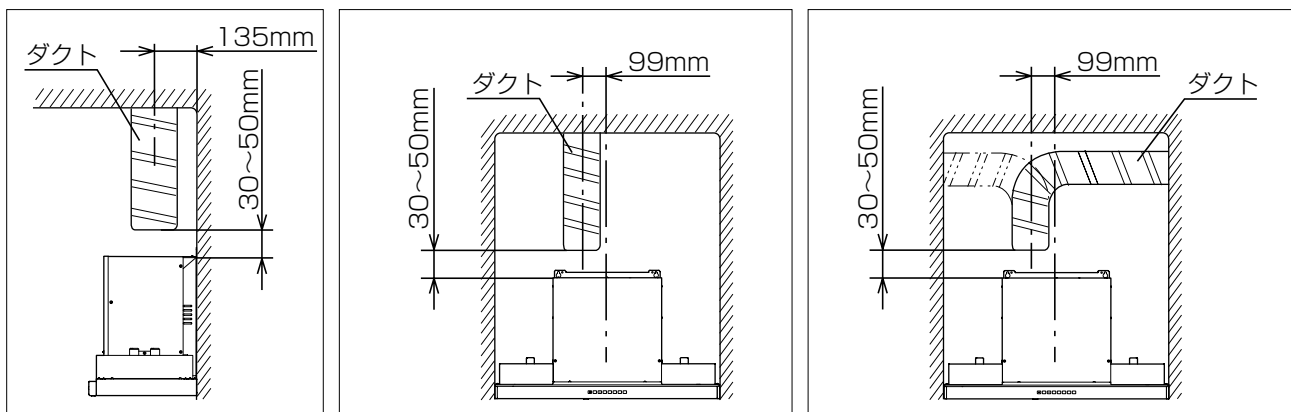
- 1 梱包箱より本体、ダクト継手、フィルター、整流板、ねじなどの付属品を取り出してください。
 - 各部品に変形やキレツなどの異常がないことを確認してください。

2. 排気方向の決定

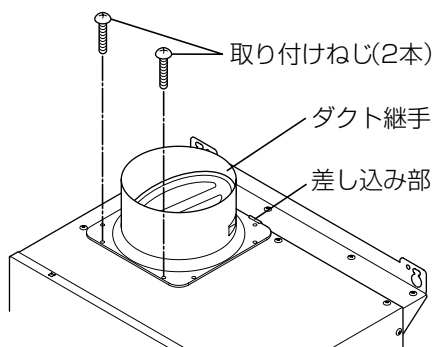
- 1 製品寸法図 (→P.3) を参照し、壁穴を開けてください。
- 2 $\phi 150$ のステンレスダクト、またはスパイラルダクトを下図のようにレンジフードファンの天面に突き出すようにセットして、周囲を仕上げてください。

⚠ 注意

- 塩化ビニル管は使用しないでください。

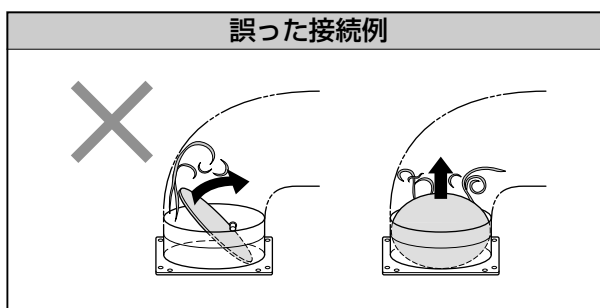
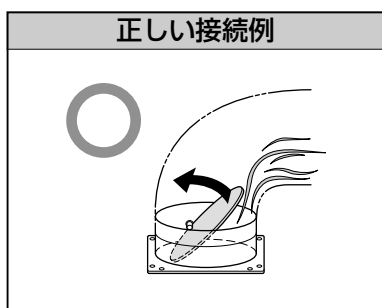


- 3 ダクト継手を直接本体に取り付けます。本体上面の差し込み部2か所にダクト継手を差し込んで、取り付けねじ2本で取り付けてください。(取り付けねじはあらかじめ本体のダクト継手取付部に止めてありますので、外してご使用ください。)



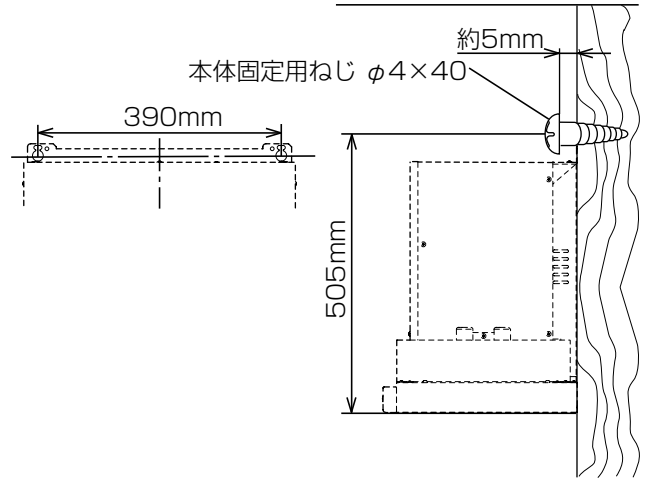
ご注意

- 別売のL形ダクトや排気ダクトを使用しないで、ダクト継手に直接ダクトを接続して側方・後方排気する場合は、シャッターの開く向きに注意してダクト継手を取り付けてください。下図の「誤った接続例」の場合、排気不良や異常音の原因になります。



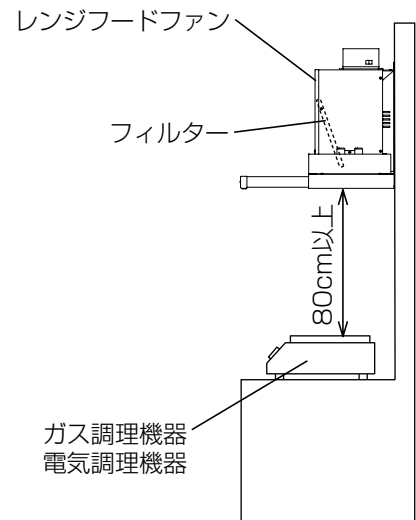
3. 本体の取り付け

- 1 付属の本体固定用ねじ2本($\phi 4 \times 40$)をレンジフードファン取り付け壁面にねじ込みます。
本体仮止め位置(左右各1か所)にねじを壁面から約5mmまで締め付けてください。



ご注意

- 製品下面がガス調理機器、電気調理機器の真上80cm以上になるように設置してください。



取り付けかた(続き)

3. 本体の取り付け

- 2** **1** で取り付けした仮止め位置のねじに本体を引っ掛け、**1** のねじを締め付けます。

ご注意

- 上面排気の場合は、ダクトにダクト継手を差し込みながら、本体を取り付けてください。

- 3** アース線をアース端子に接続してから、電源プラグをコンセントに差し込みます。

ご注意

- アース線は確実に取り付けてください。
- プラグは根元まで確実に差し込んでください。
- 電源コード、電源プラグは絶対に加工しないでください。
- アース端子がない場合は、アース工事を行ってください。

- 4** **お手入れ** を押します。

お手入れ が点滅してブザーが鳴り、伸縮フードと整流板(大)が手前へ移動して停止します。

ご注意

- 運転開始時に伸縮フードが収納位置にないときは、スイッチを受け付けません。**切** を押して収納位置へ戻してください。
すでに収納位置にあるときは **切** を押しても、伸縮フードは動きません。

⚠ 注意

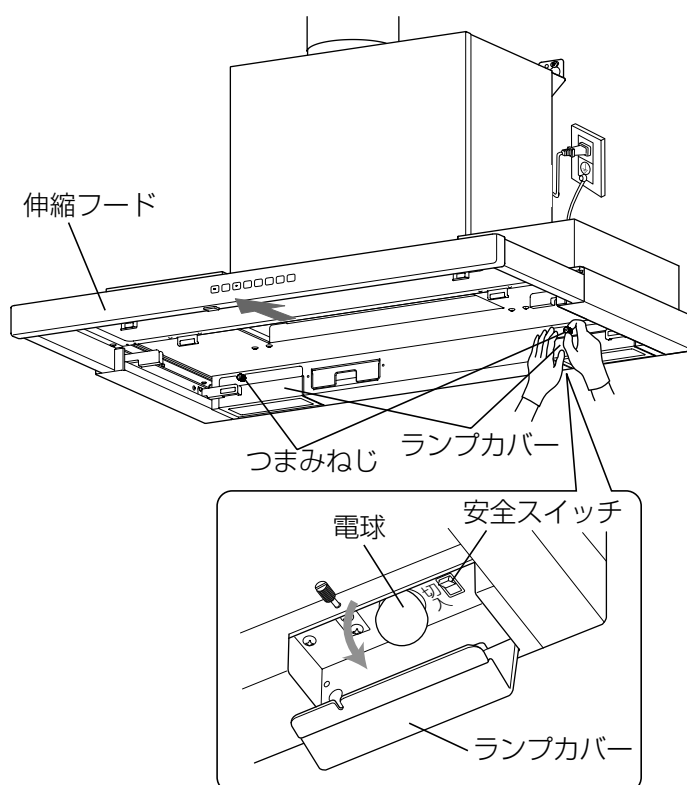
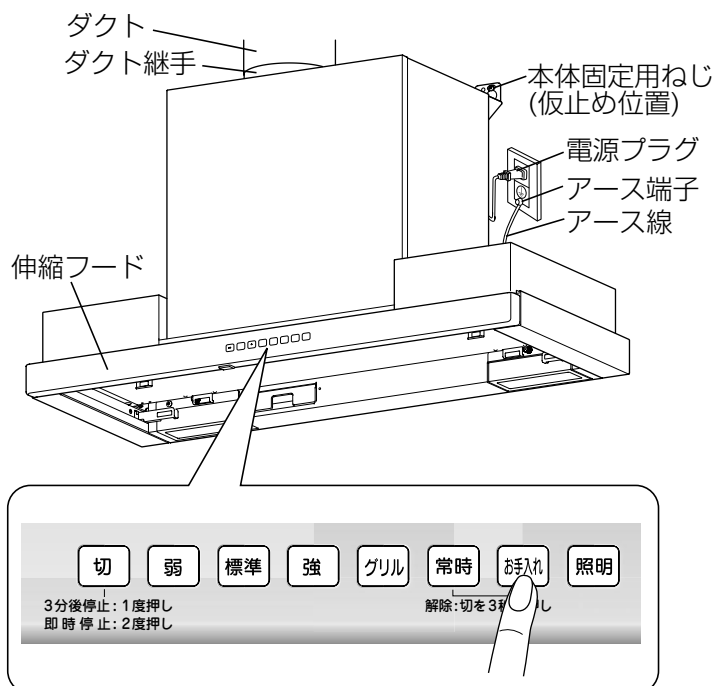
- 伸縮フード、整流板(大)が動作中には手を触れないでください。手や指をはさんでけがをする恐れがあります。

お願い

- 伸縮フードが壁などに干渉しないよう動作することを確認してください。伸縮フードが壁などに干渉する場合は、本体固定用ねじ(仮止め位置)を緩めて、本体を左右に動かして干渉しないように微調整してください。調整後はねじを締め付けてください。

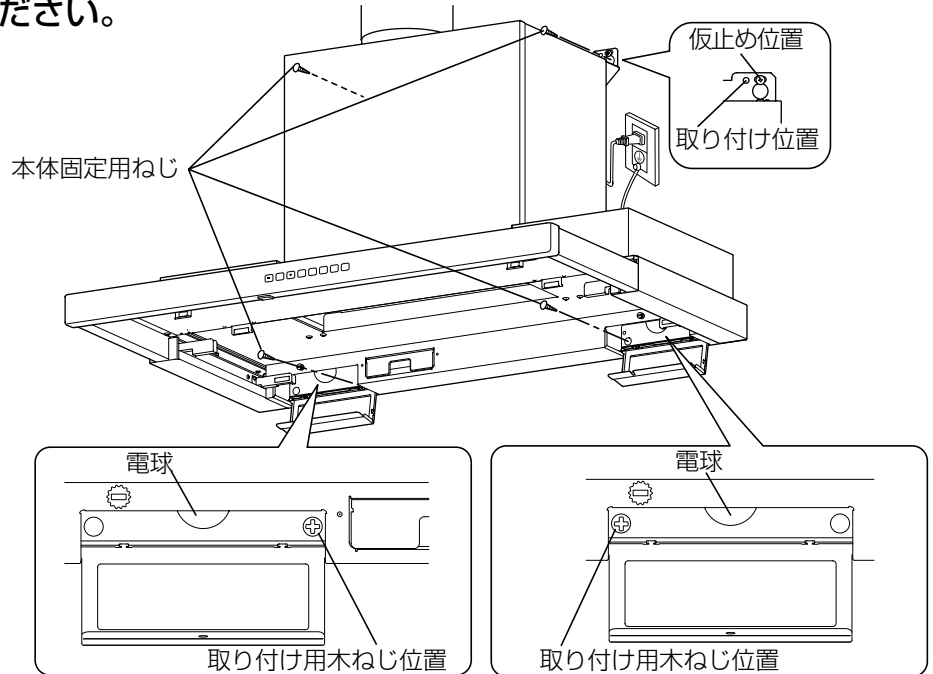
- 5** ランプカバーを固定しているつまみねじをゆるめて、ランプカバーを開けます(左右両側)。(ねじが回らないときはマイナスドライバーを使用して外してください。)

- 6** 本体正面から見て右側のランプカバー内の安全スイッチの手前側を押して「切」にしてください。



3. 本体の取り付け

- 7 付属の本体固定用ねじ4本(φ4×40)を取り付け位置(4か所)にしっかり締め付けて、本体を固定してください。



4. ダクトとダクト継手の接続

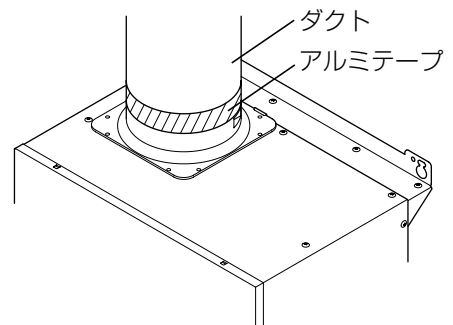
風漏れ防止のテーピング(アルミテープ)を行ってください。

ご注意

- ダクトとダクト継手をテクスねじなどで止めないでください。ダクト継手のシャッターにねじが当たり、シャッターが開かなくなります。

⚠ 注意

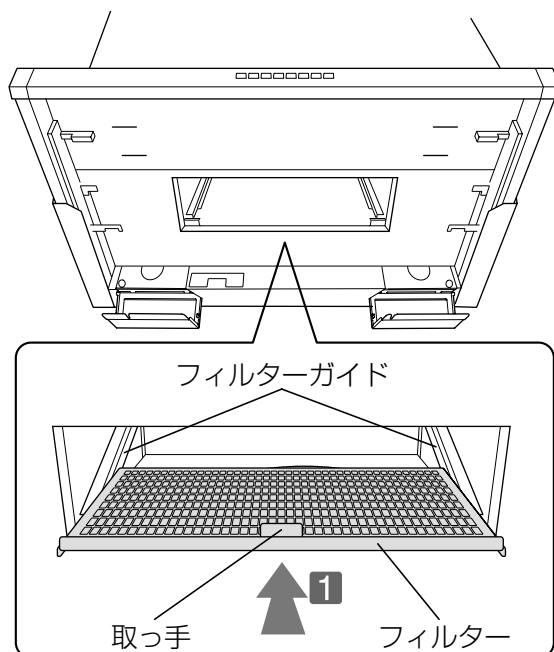
- プラスチック材テープや布テープは使用しないでください。



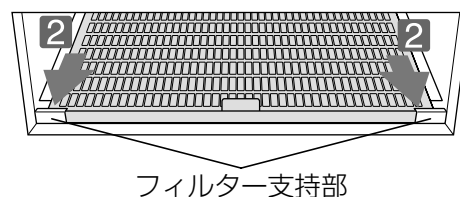
取り付けかた(続き)

5. フィルターと整流板の取り付け

- 1** フィルターの取っ手を持ち、フィルターガイド受け部に沿って、押し上げます。



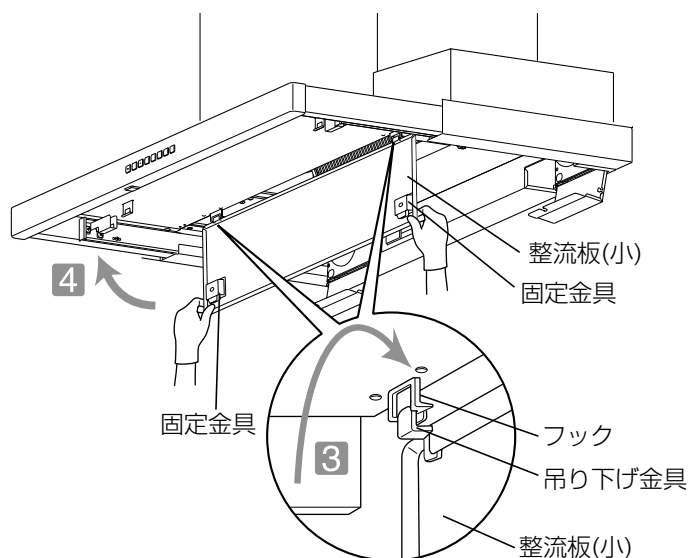
- 2** フィルター支持部(2か所)にフィルター下端を乗せます。



- 3** 整流板(小)を両手で立てた状態で持ち、整流板(小)後方の吊り下げ金具をフックに引っ掛けてください。

- 4** 整流板(小)の前方を持ち、吊り下げ金具を軸に回転させて固定金具でフード本体に固定してください。

- 5** 整流板(大)も整流板(小)同様の手順でフード本体に固定してください。



お願い

- 整流板を前後左右に動かして確実に取り付けられていることを確認してください。落下したり、伸縮フードの収納ができなくなります。

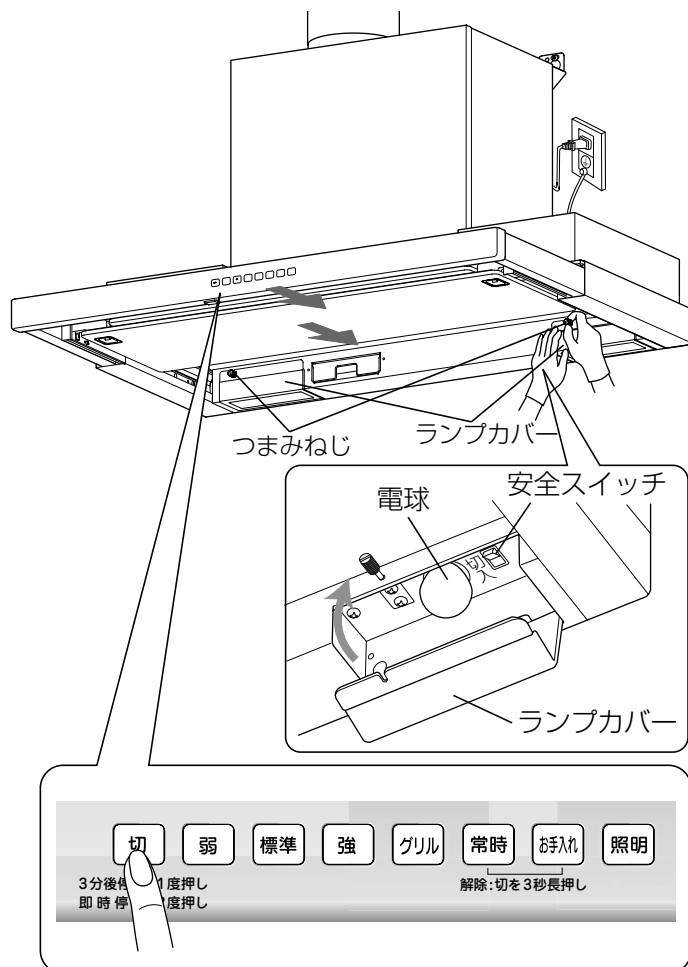
5. フィルターと整流板の取り付け

- 6** 安全スイッチを「入」にして、ランプカバーを閉じてつまみねじを締め付けます(左右両側)。

ご注意

- つまみねじが完全に締めつけられていないと伸縮フードが収納できません。

- 7** を約3秒間押し続けます。
 が点滅してブザーが鳴り、整流板(大)と伸縮フードが順に収納され、 が消灯して停止します。



取り付けた

6. 電気配線(電動給気シャッターと連動する場合)

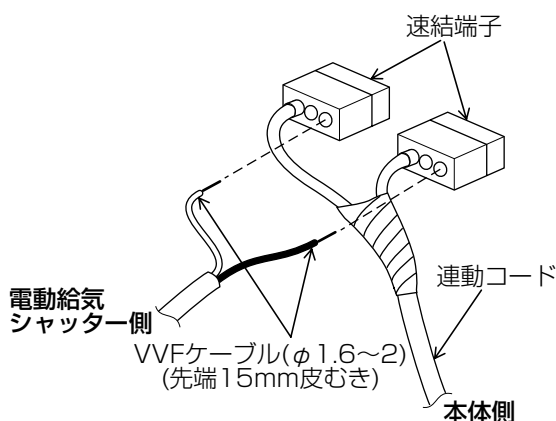
このレンジフードファンは、運転中、単相100Vを出力できる連動コードが設けてあります。電動給気シャッターと連動する場合は、電気設備技術基準・内線規程に従って電動給気シャッターと接続ください。連動コードの速結端子にVVFケーブル先端を皮むきし差し込んで結線してください。

⚠ 注意

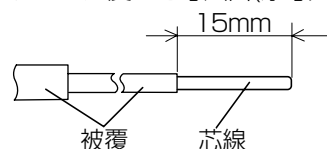
- 連結端子はより線による結線は絶対にしないでください。接触不良となり、発火の原因となります。

ご注意

- 連動コードに電圧を印加しないでください。故障の原因になります。
- 芯線が見えなくなるまで十分に差し込んでください。



VVFケーブル皮むき寸法図(原寸大)



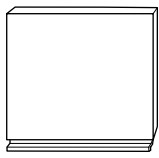
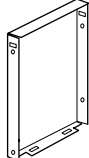
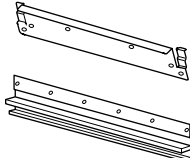
取り付けかた(続き)

7. 試運転

- はじめに を押して伸縮フードを収納位置に配置します。
(すでに収納位置にあるときは、 を押しても動きません)
- 各操作スイッチを押し、運転状態を確認してください。
スイッチの操作と運転状態については取扱説明書4, 5, 10, 11ページをご覧ください。
- 運転時、各運転の排気が正しく行われていることを確認してください。
- 異常な騒音、振動がないことを確認してください。
- 屋外の排気出口から排気されていることを確認してください。
- 取り付けまたは施工上に発生した不具合で修理を依頼されますと、すべて有料となりますので十分確認してください。
- 最後に伸縮フードを確実に収納位置に配置するため を押してください。
(収納位置にあるときは、 を押しても動きません)
- 本体取付ねじ(6本)が確実に締め付けられ、ガタツキ、ゆるみがないことを確認してください。

システム部材

システム部材は、取付方法により必要になります。
詳しくはカタログをご覧ください、日立の家電品取扱店にてお求めください。

●前幕板(VP-SAMAK)	●横幕板(VP-SAYMAK)	●面材取付金具(VP-SAMEN)
		
希望小売価格 35,000円 (税別)	希望小売価格 25,000円 (税別)	希望小売価格 17,000円 (税別)

●上記希望小売価格は、価格改正に伴い変更する場合があります。

取扱説明書・据付説明書は必ず使用されるお客様にお渡しください。

日立アプライアンス株式会社

〒105-8410 東京都港区西新橋2-15-12

電話(03)3502-2111

株式会社 日立産機システム

〒101-0022 東京都千代田区神田練堀町3番地AKSビル

電話(03)4345-6000(代)